

	提供活動	コーディネーター	事務担当	その他	当月計	年度計
時間数	52	0	0	25	77	306
人数	7	0	0	1		

	福祉活動	子育て	ナルク活動	その他	当月計	年度計
時間数	0	0	11	0	11	141
人数	0	0	9	0		

認知症 (23)

レビー小体型認知症①

【あまり知られていない身近な病気】
 レビー小体型認知症は、アルツハイマー病、血管性認知症に次いで三番目に多い認知症です。身近な病気にもかかわらずあまり知られていないのは、この病気が発見されたのが比較的最近になってからであったのと、正しく診断されるようになったのは、もっと近年になってからだという理由によるものです。

「レビー」は人の名前です。およそ100年前にドイツのフレデリック・レビーがパーキンソン患者の脳の神経細胞に特異的にみられる封入体(異常な物質が集積したもの)を発見し、以後その封入体は、発見者の名前をとって、レビー小体と呼ばれるようになりました。

- 高齢者に多い

レビー小体型認知症の症状は多様であり、アルツハイマー病のように記憶等の認知機能の低下から発症する方もいれば、パーキンソン病のように身体の動きの悪さから発症する方、抑うつ状態から幻覚などの精神症状から発症する方もいます。

- 10人認知症の方がいればそのうちの1人が2人がこの病気のようなです。
- 男女比ではアルツハイマー病が女性に多いのに対して、レビー小体型は男性に多いようです。年齢は70～80代の高齢者に多い病気と考えられています。

出典 池田学著「認知症」中公新書



ぎふべん(岐阜弁)
今も使っていますか？

【ヤ・ロ・ラ】

- ～やて → ～ですよ
- ～やで → ～ですので
- やにこい → やりにくい
- やめる → 痛む
- ～やらあ → ～でしょう
- ようけ → たくさん
- よったいな → おかしな
- よばれる → 招かれる、頂く
- らしもない → 乱雑
- わっち → 私
- わりかし → わりあい、わりと

ぎふべん(岐阜弁) これでおしまい

読めますか？

蠢く 轟く 姦しい 犇い 焱
 轟しい 疚しい 磊磊落落
 弄ぶ 蹲る 甚振る 犇く

うごめく とどろく かしましい なまぐさい つむじかぜ
 けばしい やましい らいらいらくらく
 もてあそぶ&いじる うずくまる いたぶる ひしめく

ウィキペディアより

「マルティン・ニーメラ」の言葉です。

反ナチス運動で知られる

「マルティン・ニーメラ」の言葉です。

「彼らが最初共産主義者を攻撃したとき」

「彼らが最初共産主義者を攻撃したとき」